

VI. CSRマネジメント実践の手引きと秘訣

本ガイドの狙いは、企業がCSRの実践に際して、自社に則したCSRマネジメントを構築・運用・改善し、及び社内に浸透・定着させることにより、経営体質の刷新や強化を図ることにあります。そのため、本章では、自社固有のCSRリスクを評価する手法、及び関連のCSR課題を解決するためのPDCAの仕組み（CSRマネジメントシステム）について、実務的な考え方と手順、及び企業事例を提供します。

具体的には、「CSRマネジメント推進フォーラム」における成果を基に、CSRマネジメントの構築、及び実践に必須の事項を10の「手引」に整理し、更に「手引」の実行に欠かせない諸要素を15の「秘訣」としてまとめました。またより多くの企業で参考になるよう、フォーラムのメンバー企業の「事例」を多数掲載し、実務的な構成としました。

本ガイドにおいては、CSRマネジメントシステムを、下記のようなPDCAのフレームワークとして考え、「手引」を作成しました。各手引とマネジメントの各要素との関連は図中に示しました。

図5 CSRマネジメントと手引の関係

